

中村キース・ヘリング美術館が特別協力
 松坂屋美術館（名古屋）で開催中の
 「キース・ヘリング展 アートをストリートへ」は
 11月16日（土）まで



世界で唯一のキース・ヘリングの美術館である中村キース・ヘリング美術館（山梨県・小淵沢）は、松坂屋美術館（愛知県・名古屋）で開催中の「キース・ヘリング展 アートをストリートへ」（会期：2024年9月28日[土]~11月16日[土]）の特別協力として監修および約140点の作品を出品しています。

本展は、総作品数約150点で構成され、キース・ヘリングがアーティストとして活動した10年程の間に制作した作品の全容を概観する展覧会です。

本展覧会は6会場を巡回予定で、この後、静岡市美術館(静岡)、茨城県近代美術館(水戸)の2会場の巡回を予定しています。

明るく、ポップなイメージで世界中から愛されているキース・ヘリング。

ヘリングは「アートはみんなのために」と

いう信念のもと、1980年代のニューヨークで地下鉄駅構内やストリートなど、日常にアートを拡散させることで、社会へ強いメッセージを発信し、人類の未来と希望を子どもたちに託しました。ヘリングが駆け抜けた31年間の生涯のうち創作活動期間は10年程ですが、残された作品に込められたメッセージは、いまなお響き続けています。

本展は、6メートルに及ぶ大型作品や日本初公開含む約150点の作品を通してヘリングのアートを体感いただける機会です。社会に潜む暴力や不平等、HIV・エイズに対する偏見と支援不足に対して最

後まで闘い続けたヘリングのアートは、現代社会に生きる人々の心を揺さぶることでしょう。

見どころ

ヘリングを一躍有名にしたサブウェイ・ドローイングを一堂に

今回展示されているキース・ヘリングの名前が世界に広く知られるきっかけとなったサブウェイ・ドローイングプロジェクトの作品7点のうち、当館より2点の《無題(サブウェイ・ドローイング)》を出品しています。他5点はニューヨークから出品され、この巡回展で日本初公開となります。松坂屋美術館のエントランスをくぐると、まず、彫刻《セルフポートレート》が、そして、その後ろにヘリングがサブウェイドローイングを描く過程の写真を展示しています。サブウェイ・ドローイングプロジェクトによって描かれた作品が、コミカルで明るい表現から、社会への風刺を感じさせるものまで多彩な作風であったことや、ヘリングがすばやく作品を仕上げていく様子など臨場感をもってご覧いただけます。



愛知県の陶磁器メーカーを訪れ、描いた「ポップショップ東京で販売された茶碗」を出品

本展覧会は6つの章で構成されており、最後の章「キース・ヘリングと日本」では、ヘリングが1988年にオープンした、ポップショップ東京で販売された茶碗を当館から出品しています。日本の伝統を取り入れた作品をポップショップ東京で販売することにこだわりを持っていたヘリングは1987年の来日時には、日本各地でオリジナルグッズの制作を行いました。同年10月27日のヘリングの日記には、新幹線で名古屋に到着し、陶磁器メーカーの工房を訪れたことが記されています。茶碗の形を選び、陶磁器特有の釉薬に夢中になりながら4時間をかけて制作した茶碗を、陶磁器の歴史が深く、本作品と縁深い愛知県の会場でぜひご覧ください。



All Keith Haring Artwork ©Keith Haring Foundation

展覧会概要

会期	2024年9月28日(土)～11月16日(土)
定休日	会期中無休
開館時間	10:00～18:00 ※最終入場は30分前まで
会場	松坂屋美術館 (松坂屋名古屋店 南館 7階) 〒460-8430 名古屋市中区栄三丁目16番1号
展覧会公式サイト	https://kh2023-25.exhibit.jp
主催	松坂屋美術館、メ～テレ
特別協力	中村キース・ヘリング美術館
お問い合わせ	松坂屋美術館 TEL : 050-1782-7000

巡回情報

静岡会場	2024年11月28日(木)～2025年1月19日(日) 静岡市美術館
水戸会場	2025年2月1日(土)～4月6日(日) 茨城県近代美術館

<本件に関する報道関係お問合せ先>

PR 担当：八木、木虎

連絡先：pr_nkhc@keith.jp